

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2011年第37週
(9月12日～9月18日)

- * 2011年9月21日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2011年8月)の疾患及び感染症豆知識
「伝染性紅斑」も掲載しています。

平成23(2011)年9月22日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2011年37週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週		37週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎					1		1
	結核	82	85	58	67	3,399	364	21,507
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ					1	1	8
	細菌性赤痢	2	3	6	1	50	13	205
	腸管出血性大腸菌感染症	13	16	16	8	209	81	3,059
	腸チフス					3		15
	パラチフス					9		19
四類	E型肝炎					7	1	45
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1		1	23	1	151
	エキノコックス症					1		13
	黄熱							
	オウム病					3		11
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							5
	つつが虫病					8		166
	デング熱			2		16		68
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	99
	日本脳炎					1	1	4
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							3
マラリア	1				17	1	48	
野兔病								
ライム病					3		6	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽							2	
レジオネラ症	3	1	4	5	52	22	532	
レプトスピラ症					3		12	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週	年累計	37週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	7	4	3	124	10	577
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1			1	29	1	179
	急性脳炎 *2					13	1	197
	クリプトスポリジウム症					2		7
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		13	3	91
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3			27	2	156
	後天性免疫不全症候群	12	8	7	5	282	14	1,022
	ジアルジア症	1				8	1	47
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		7
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	8	5	4	8	167	9	541
	破傷風					6	2	82
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1	1	42
	風しん	1				26	2	316
麻しん		5			164	3	397	
2011/9/21集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 67件 肺結核 32件、その他の結核 35件、年齢は10代 8件、20代 9件、30代 3件、40代 8件、50代 6件、60代 12件、70代 10件、80代 9件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 64件、インド 1件、中国 1件、タイ 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はソネ、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

腸管出血性大腸菌感染症 8件 患者 7件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO26 VT1・VT2 2件、O111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、O26 VT1 1件、O157 VT(型不明) 1件、血清診断 1件、年齢は10歳未満 5件(うち5歳未満 2件)、10代 1件、20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 6件(東京都 3件、北海道 1件、不明 2件)、インドネシア 1件、中国 1件、推定感染経路は経口感染 5件、接触感染 1件、その他(不明) 2件であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 患者、年齢は50代、推定感染地はタイ、推定感染経路は経口感染であった。

レジオネラ症 5件 肺炎型 5件、年齢は50代 2件、60代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は水系感染(循環風呂) 2件、その他(不明) 3件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管 3件、年齢は40代 3件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は性的接触 1件(性別不明)、その他(不明) 2件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間)であった。

後天性免疫不全症候群 5件 無症候キャリア 4件、AIDS 1件、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 2件、40代 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は性的接触(同性間) 4件、不明 1件であった。無症候キャリアのうち1件は、梅毒(37週報告)との重複感染を認めている。

梅毒 8件 無症候梅毒 3件、早期顕症梅毒Ⅱ期 5件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 6件(同性間 4件、異性間 1件、性別不明 1件)、その他(不明) 2件であった。

※ 第36週該当分として、三類 細菌性赤痢 1件、腸管出血性大腸菌感染症 2件、五類 後天性免疫不全症候群 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2011年37週

定点種別	対象疾患	2011年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		34週	35週	36週	37週	定点あたり		
小児科	RSウイルス感染症	51	93	97	126	0.49	256	264
	咽頭結膜熱	59	63	65	71	0.28		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	146	159	181	182	0.71		
	感染性胃腸炎	679	740	850	877	3.43		
	水痘	96	103	106	112	0.44		
	手足口病	1,100	1,171	1,136	1,056	4.13		
	伝染性紅斑	64	95	77	44	0.17		
	突発性発しん	166	206	199	194	0.76		
	百日咳	8	12	9	1	0.004		
	ヘルパンギーナ	622	675	573	502	1.96		
	流行性耳下腺炎	73	58	81	65	0.25		
	川崎病(注1)	2	5	2	1	0.004		
	不明発しん症(注1)	18	38	23	28	0.11		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	2	1	7	10	0.02	408	419
眼科	急性出血性結膜炎		1	1			37	39
	流行性角結膜炎	21	24	22	21	0.57		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)		3	3	1	0.04	25	25
	無菌性髄膜炎	3	5	2	5	0.20		
	マイコプラズマ肺炎	19	24	33	34	1.36		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			1				
	インフルエンザ入院(注4)							
2011/9/21集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症の定点あたり報告数は増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・手足口病の定点あたり報告数は33週以降、下げ止まった状態で、27週から引き続き流行警報基準を超えている。
- ・ヘルパンギーナの流行警報基準は前週、解除されたが、定点あたり報告数は、高い水準で推移している。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数は、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

2 保健所管内の医療機関からインフルエンザ迅速キットA型、1 保健所管内の医療機関からインフルエンザ迅速キットB型陽性の報告がありました。

世田谷区

- ・マイコプラズマ感染症 3名(抗体価上昇)、CAM耐性が示唆されました。

荒川区

- ・引続きRSウイルス感染症が流行中です。
- ・感染性胃腸炎:病原性大腸菌O1、O18、O128 各1名。

板橋区

- ・感染性胃腸炎:病原性大腸菌O25 1名。

南多摩

- ・再度、手足口病、ヘルパンギーナ発症増加となった。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年37週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	19			11		9		6		7
～1歳	31	5		90	4	104	2	83		57
1歳	50	10	2	127	26	312	2	82		87
2歳	15	9	9	91	16	161	4	19		78
3歳	8	13	18	78	25	135	7	4		80
4歳	2	14	21	77	22	119	13			64
5歳	1	6	28	65	10	85	6			45
6歳		1	25	45	4	48	4			23
7歳		4	17	39		21	2			14
8歳			13	33		15	1			11
9歳		5	7	28	2	15	1			7
10～14歳		2	30	92	3	11	2			18
15～19歳			1	15		4				
20～29歳		2	11	86		17			1	11
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	126	71	182	877	112	1,056	44	194	1	502
先週比	29	6	1	27	6	-80	-33	-5	-8	-71

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月			1			
～1歳			3			
1歳	9		8			1
2歳	7		8			1
3歳	10		3			1
4歳	6	1	2			1
5歳	6					1
6歳	4		1			1
7歳	7					
8歳	5					1
9歳	3					
10～14歳	7		1	6		
15～19歳	1			1		
20～29歳			1			4
30～39歳						4
40～49歳				1		1
50～59歳				1		2
60～69歳						3
70～79歳				1		
80歳以上						
合計	65	1	28	10		21
先週比	-16	-1	5	3	-1	-1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年37週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年37週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	3		1	2		3				2
中央区				5	2	16		3		3
みなと	1	2	3	21	3	32		4		5
新宿区	8	1	6	17	1	12	1	3		4
文京		2	3	2	1	8	3	1		1
台東	3		5	23	4	9		2		5
墨田区	9		5	5	3	18	4	7		3
江東区	13	2	7	70	7	85		5		30
品川区	4	1	2	39		19		2		10
目黒区	1		2	9	1	8		4		1
大田区	18	13	25	66	5	31	2	13	1	24
世田谷	3	3	15	47	8	62	4	11		13
渋谷区	1	3		7		10	2	1		8
中野区	4	1	7	20	1	30	1	5		9
杉並	4		4	43	3	31		4		9
池袋			1	7		5	1	4		2
北区		1	1	16	2	30		4		7
荒川区	15	1	6	23		29		3		7
板橋区	1	1	2	14	5	14	3	8		3
練馬区	1	1	10	40	3	30	2	9		58
足立	3	3	7	59	3	46	3	10		31
葛飾区	1	4		22	13	13	2	7		11
江戸川	9	13	13	61	6	37	2	7		32
八王子市	2	7	15	62	3	106	4	15		18
町田市			5	38	4	31	1	12		19
西多摩				16	7	51	3	6		7
南多摩	3	1	2	20	5	89		11		34
多摩立川	8		8	40	3	47	4	3		34
多摩府中	2	9	19	25	14	67	2	10		58
多摩小平	9	2	8	58	5	87		20		54
島しょ										
東京都合計	126	71	182	877	112	1,056	44	194	1	502

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2011年37週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			1			
中央区	2					2
みなと	1					
新宿区	2					
文京	2					
台東	2			1		
墨田区			1			
江東区	1		5	1		
品川区	1					
目黒区						
大田区						1
世田谷	4	1	5	5		1
渋谷区	2					1
中野区	6					
杉並	3					
池袋	1					
北区	2					1
荒川区	1					
板橋区	1		1			1
練馬区	3					4
足立	1		3			1
葛飾区	2		1			5
江戸川	1					
八王子市	4		1			
町田市	2		1	2		
西多摩	3					
南多摩	11					
多摩立川	1		3			
多摩府中	4		3			1
多摩小平	2		3	1		3
島しょ						

東京都合計	65	1	28	10	-	21
-------	----	---	----	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		
-------	--	--

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年37週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1.00		0.33	0.67		1.00				0.67
中央区				1.67	0.67	5.33		1.00		1.00
みなと	0.17	0.33	0.50	3.50	0.50	5.33		0.67		0.83
新宿区	1.00	0.13	0.75	2.13	0.13	1.50	0.13	0.38		0.50
文京		0.50	0.75	0.50	0.25	2.00	0.75	0.25		0.25
台東	0.75		1.25	5.75	1.00	2.25		0.50		1.25
墨田区	1.80		1.00	1.00	0.60	3.60	0.80	1.40		0.60
江東区	1.44	0.22	0.78	7.78	0.78	9.44		0.56		3.33
品川区	0.50	0.13	0.25	4.88		2.38		0.25		1.25
目黒区	0.20		0.40	1.80	0.20	1.60		0.80		0.20
大田区	1.38	1.00	1.92	5.08	0.38	2.38	0.15	1.00	0.08	1.85
世田谷	0.19	0.19	0.94	2.94	0.50	3.88	0.25	0.69		0.81
渋谷区	0.25	0.75		1.75		2.50	0.50	0.25		2.00
中野区	0.57	0.14	1.00	2.86	0.14	4.29	0.14	0.71		1.29
杉並	0.40		0.40	4.30	0.30	3.10		0.40		0.90
池袋			0.25	1.75		1.25	0.25	1.00		0.50
北区		0.17	0.17	2.67	0.33	5.00		0.67		1.17
荒川区	3.75	0.25	1.50	5.75		7.25		0.75		1.75
板橋区	0.11	0.11	0.22	1.56	0.56	1.56	0.33	0.89		0.33
練馬区	0.08	0.08	0.77	3.08	0.23	2.31	0.15	0.69		4.46
足立	0.25	0.25	0.58	4.92	0.25	3.83	0.25	0.83		2.58
葛飾区	0.13	0.50		2.75	1.63	1.63	0.25	0.88		1.38
江戸川	0.75	1.08	1.08	5.08	0.50	3.08	0.17	0.58		2.67
八王子市	0.18	0.64	1.36	5.64	0.27	9.64	0.36	1.36		1.64
町田市			0.63	4.75	0.50	3.88	0.13	1.50		2.38
西多摩				2.00	0.88	6.38	0.38	0.75		0.88
南多摩	0.33	0.11	0.22	2.22	0.56	9.89		1.22		3.78
多摩立川	0.57		0.57	2.86	0.21	3.36	0.29	0.21		2.43
多摩府中	0.12	0.53	1.12	1.47	0.82	3.94	0.12	0.59		3.41
多摩小平	0.60	0.13	0.53	3.87	0.33	5.80		1.33		3.60
島しょ										

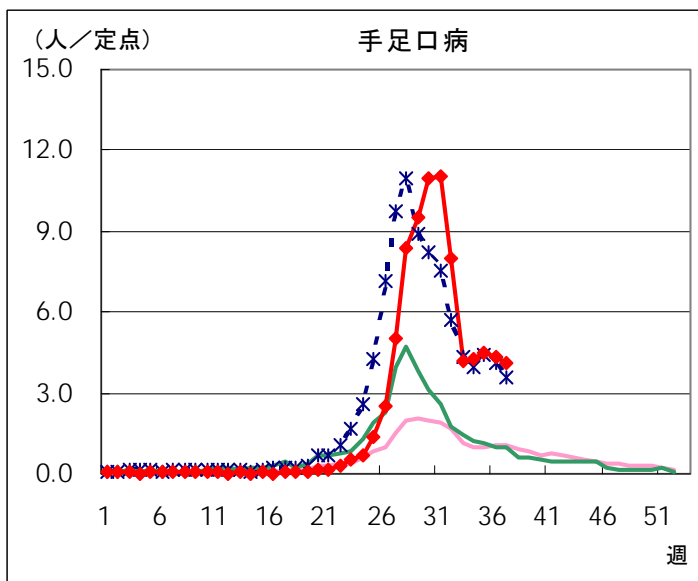
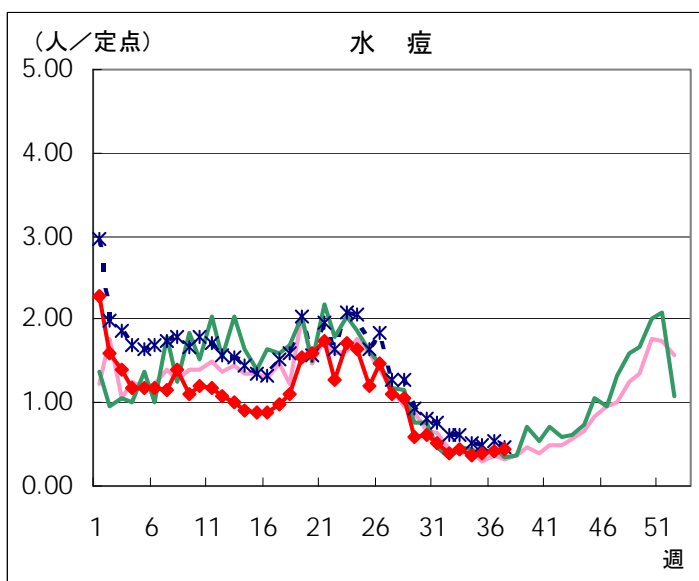
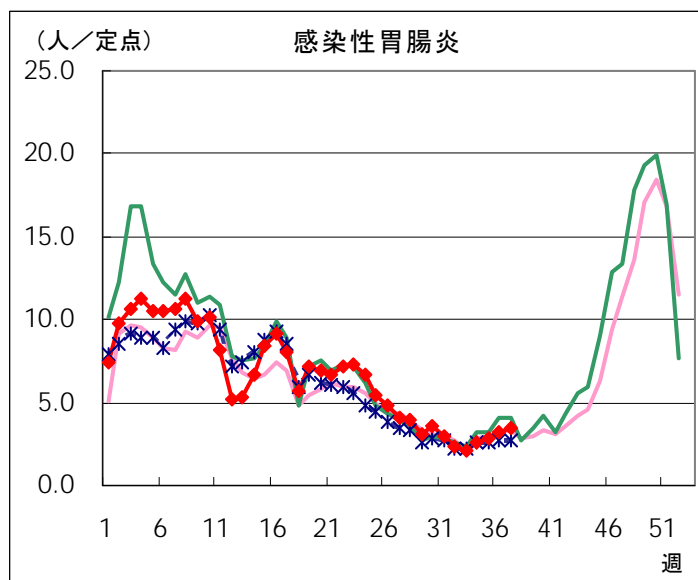
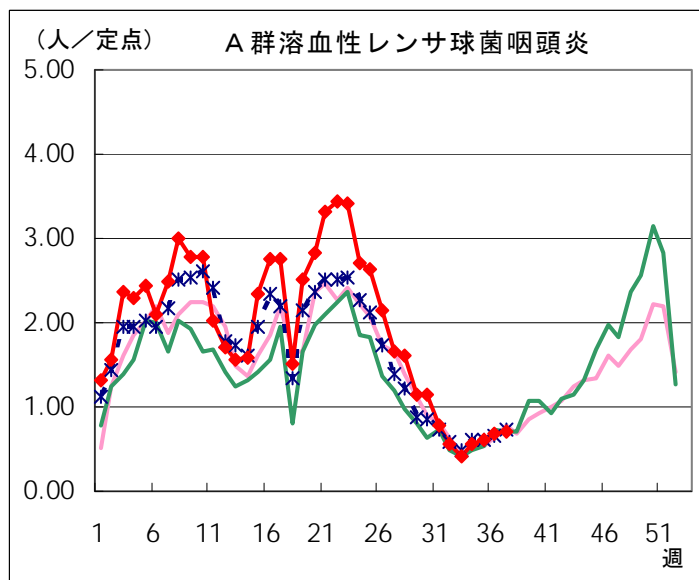
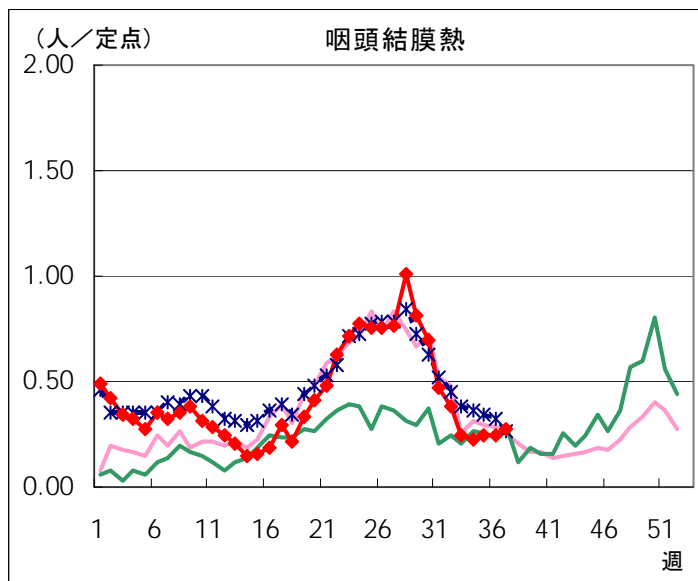
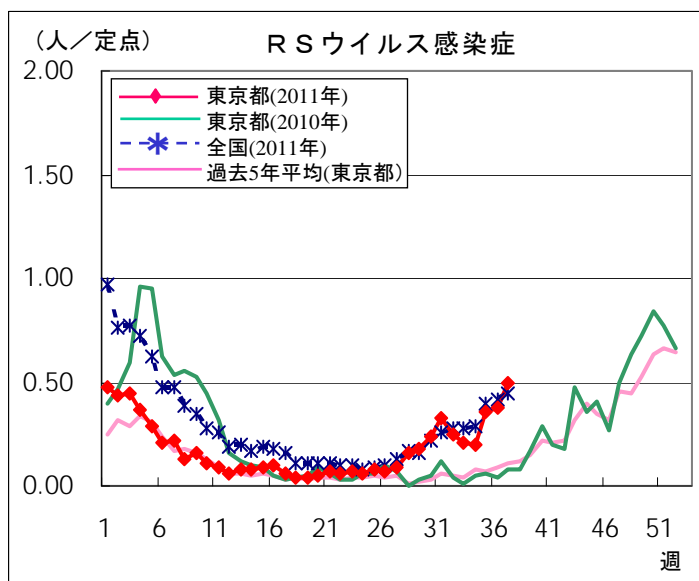
東京都	0.49	0.28	0.71	3.43	0.44	4.13	0.17	0.76	0.004	1.96
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------

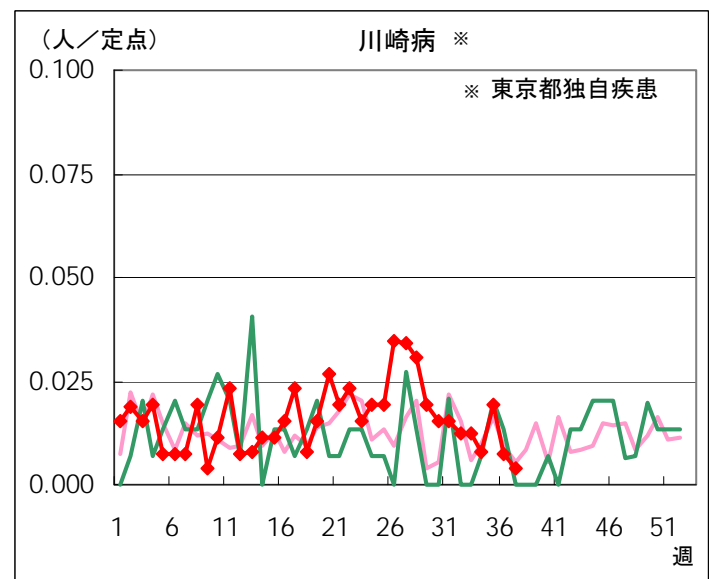
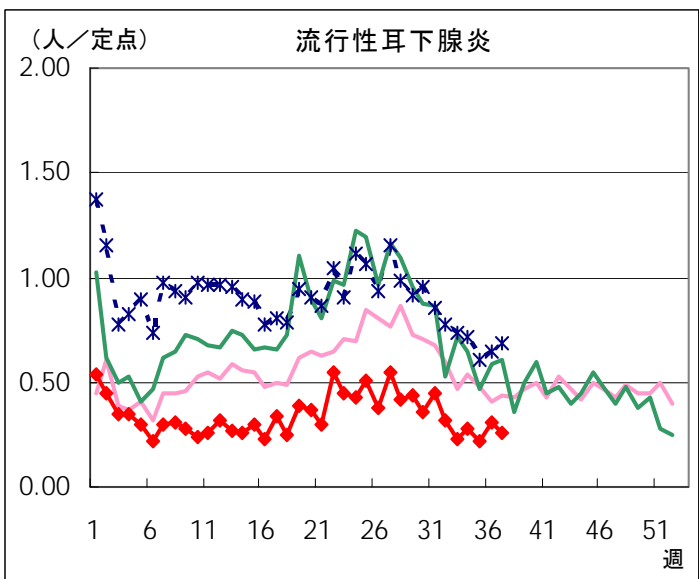
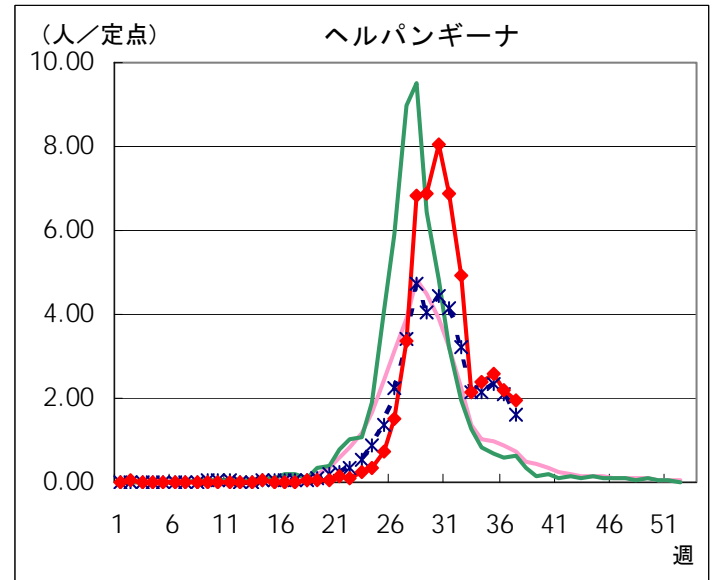
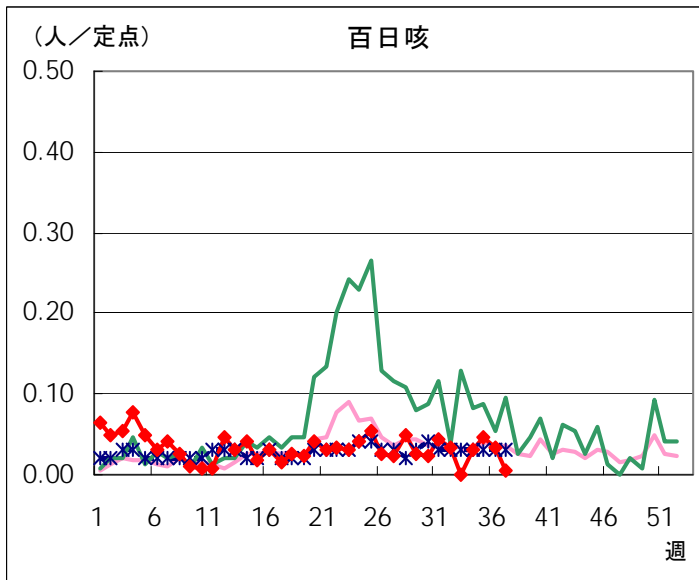
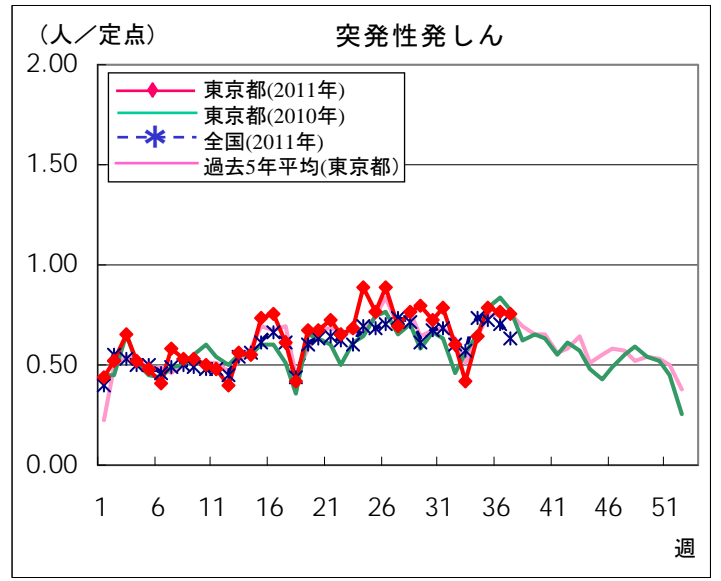
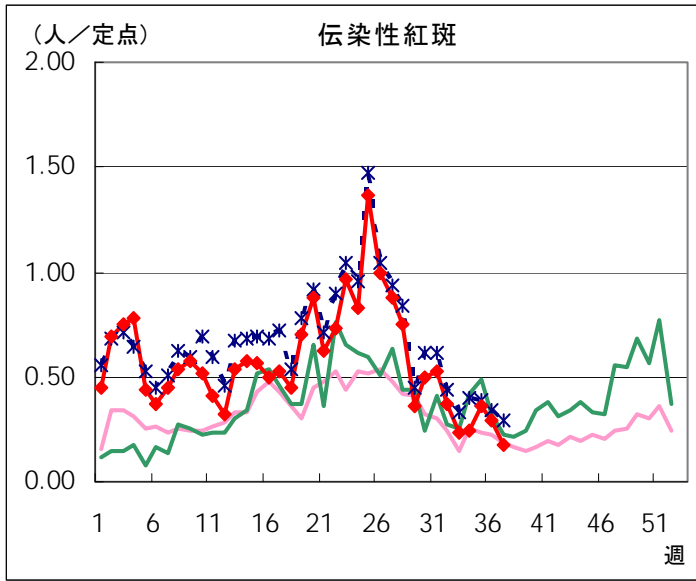
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			0.33			
中央区	0.67					2.00
みなと	0.17					
新宿区	0.25					
文京	0.50					
台東	0.50			0.14		
墨田区			0.20			
江東区	0.11		0.56	0.07		
品川区	0.13					
目黒区						
大田区						0.50
世田谷	0.25	0.06	0.31	0.20		0.50
渋谷区	0.50					
中野区	0.86					
杉並	0.30					
池袋	0.25					
北区	0.33					1.00
荒川区	0.25					
板橋区	0.11		0.11			0.50
練馬区	0.23					2.00
足立	0.08		0.25			0.50
葛飾区	0.25		0.13			5.00
江戸川	0.08					
八王子市	0.36		0.09			
町田市	0.25		0.13	0.15		
西多摩	0.38					
南多摩	1.22					
多摩立川	0.07		0.21			
多摩府中	0.24		0.18			0.50
多摩小平	0.13		0.20	0.04		1.50
島しょ						

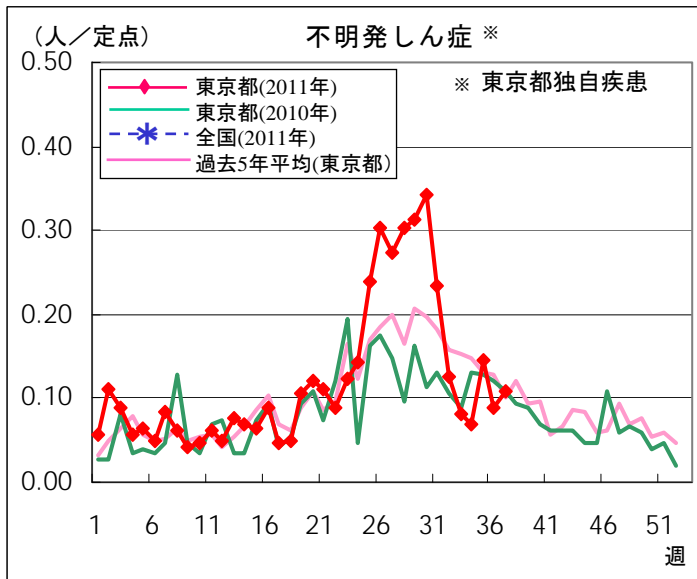
東京都	0.25	0.004	0.11	0.02	-	0.57
-----	------	-------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年37週現在

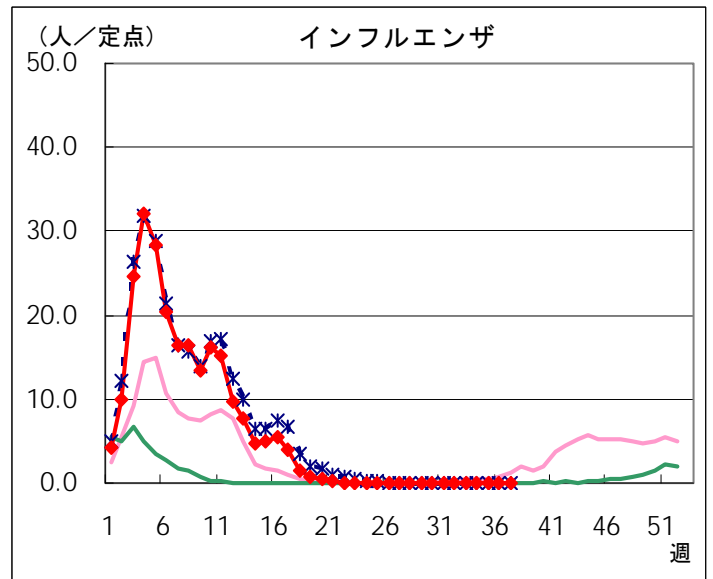
◆ 小児科定点



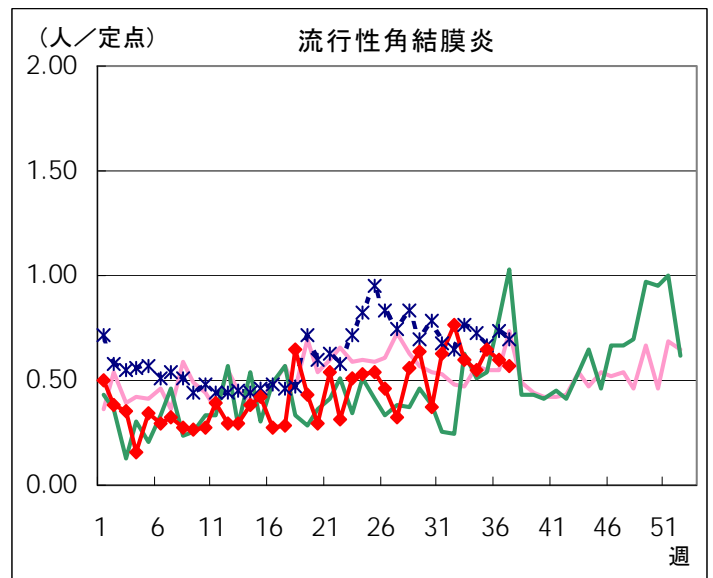
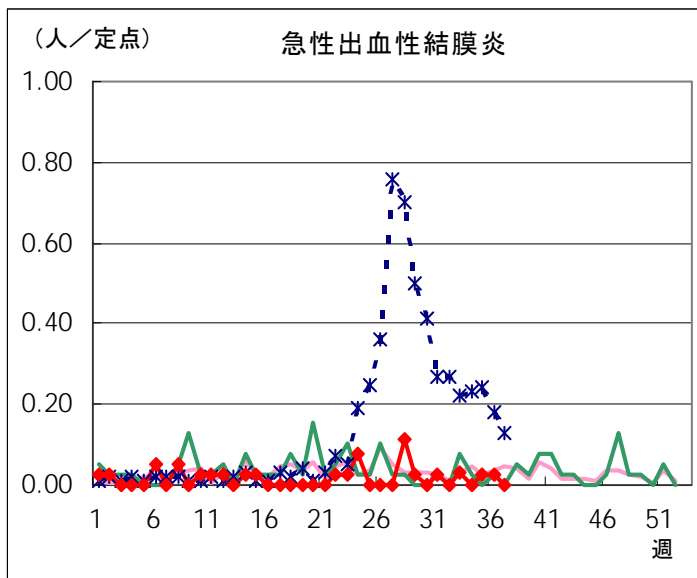




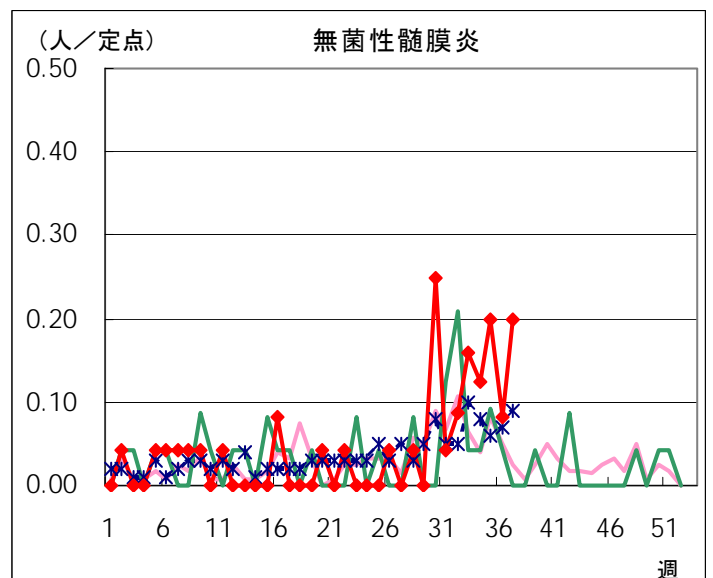
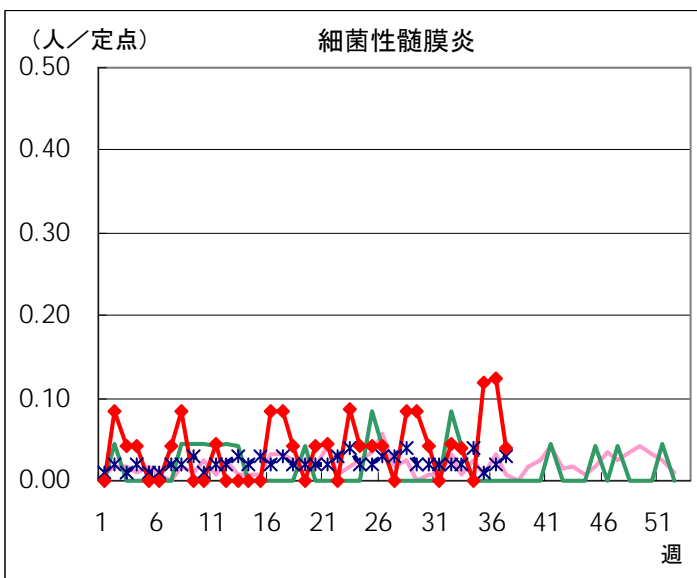
◆ インフルエンザ定点

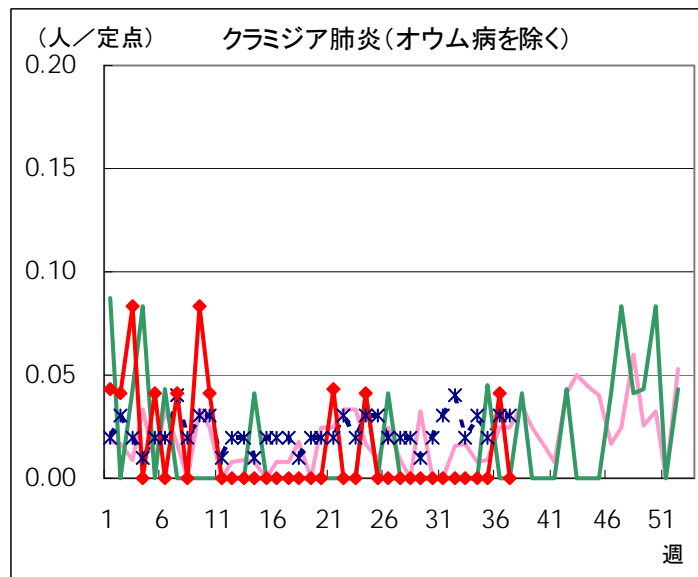
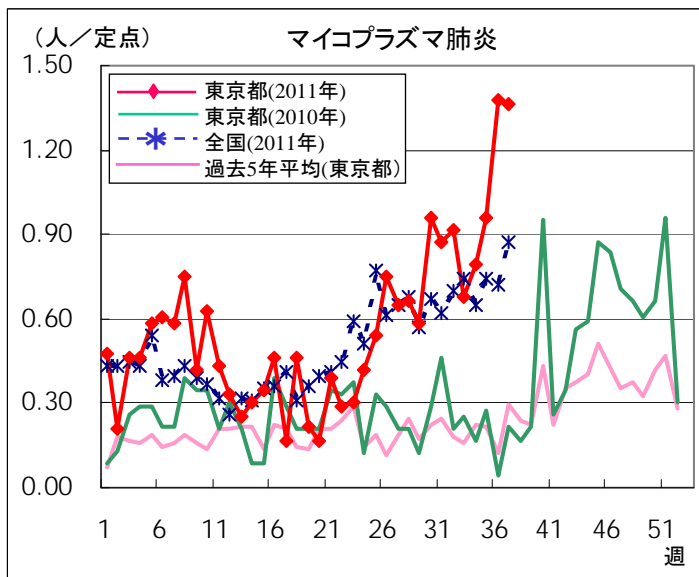


◆ 眼科定点

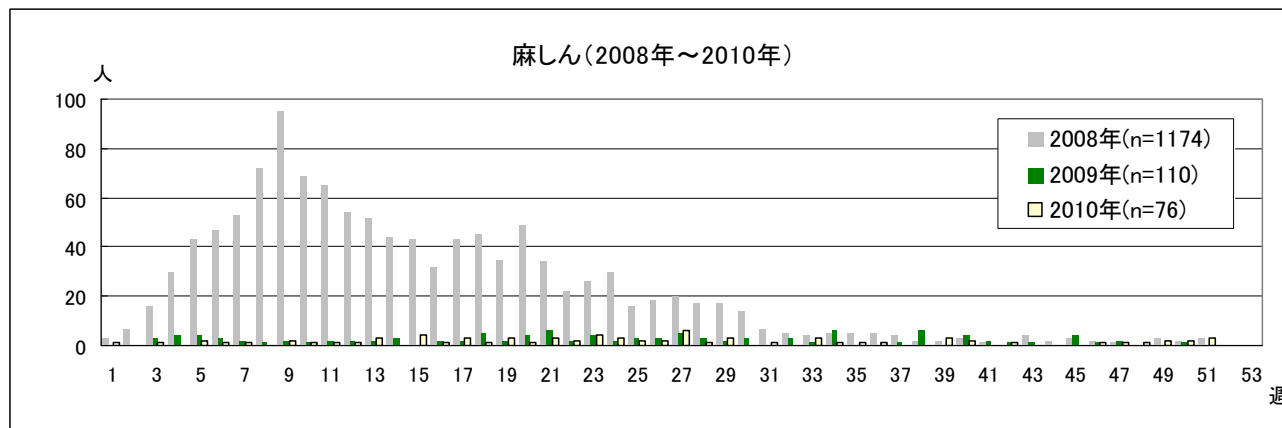
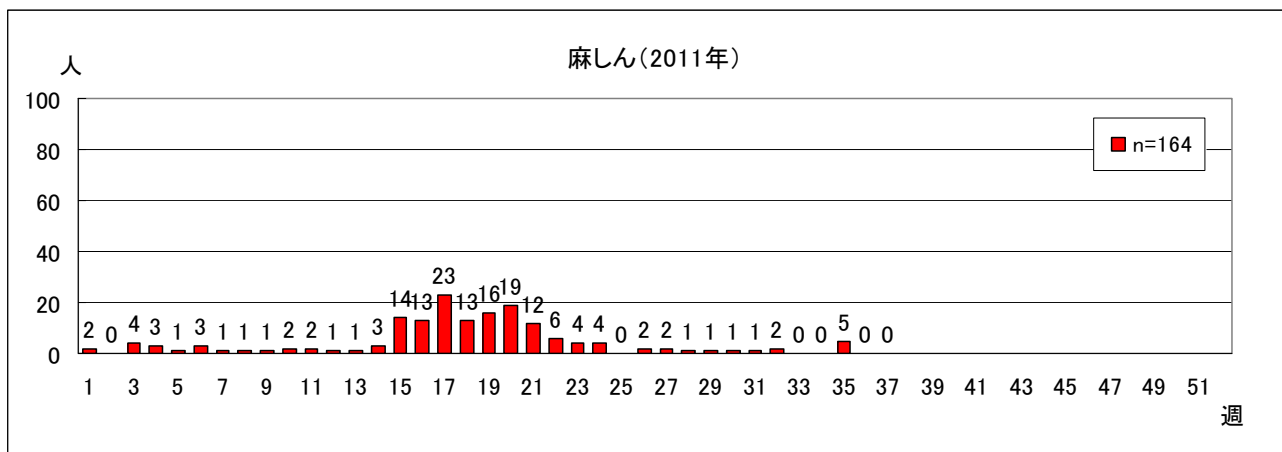


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年37週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/7	無菌性髄膜炎	1M	直腸拭い液	ライノウイルス	遺伝子
			咽頭拭い液		
			髄液	エンテロウイルス	
9/7	手足口病	7M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/5	突発性発しん	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/5	ヘルパンギーナ	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/5	手足口病	11M	直腸拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
9/5	気管支炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
9/3	気管支炎・中耳炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
9/6	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
9/5	急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
9/8	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス アデノウイルス	
9/5	髄膜炎	2	髄液	エンテロウイルス	
9/5	手足口病	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/7	肺炎	3	鼻汁	ライノウイルス	
9/5	ヘルパンギーナ	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/3	咽頭結膜熱疑い	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/30	頸部リンパ節炎	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
8/30	髄膜炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/30	髄膜炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/30	髄膜炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/7	多形滲出性紅斑	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/6	手足口病疑い	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/1	感冒	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/8	急性咽頭炎	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
9/2	上気道炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/5	流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
9/5	ウイルス性脳炎・脳症	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/5	髄膜炎	7	髄液	エンテロウイルス	
9/6	流行性耳下腺炎疑い	8	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
9/8	発熱	25	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群 5型	
9/3	手足口病	26	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/8	急性咽頭炎	記載なし	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/8	咽頭結膜熱疑い	記載なし	咽頭拭い液	ライノウイルス、アデノウイルス	
記載なし	熱性けいれん・髄膜炎	記載なし	髄液	エンテロウイルス	

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
ウイルス	アデノウイルス	5	4		7	3	7		5
	ライノウイルス	1	5	2	4			4	8
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群			2			3		1
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	16	21	28	24	12	24	11	21
	単純ヘルペスウイルス	1		2			1	1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス			1				1	
	ヘルペスウイルス6/7	6	4	2	10	7	10	6	2
	EBウイルス			1	2		2	1	1
	サイトメガロウイルス			2	2				
	ムンプスウイルス	1			4	1	1	1	1
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	2	3	2	4		1		
	RSウイルス		1		1	4	1	1	4
	ノロウイルス								
	ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3									
インフルエンザウイルスB									
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス	2	1	1		1				
細菌	カンピロバクター	1		1	1		1		
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌				1				
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年29週～2011年36週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数			36	35	16	62	12		5	25	50	8	42	11	5	1		168	
ウイルス	アデノウイルス		4	2	1		6		2	2	4		3					7	
	ライノウイルス		5	2	1	3	1			1	2		4		1			4	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																	6	
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		16	9	4	15	2			20	43		14	2	1			31	
	単純ヘルペスウイルス										1								4
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														2				
	ヘルペスウイルス6/7		1							2	14		17						13
	EBウイルス		1										1	1					4
	サイトメガロウイルス												2						2
	ムンプスウイルス					2			1					6					
	麻疹しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19										1	8	2						1
	RSウイルス		2	8															2
	ノロウイルス																		
	ロタウイルス																		
	インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																			
インフルエンザウイルスB																			
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)													1						
その他のウイルス		2	2																
細菌	カンピロバクター				4														
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌				1														
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2011年8月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	132	2.40	55	55
		女	112	2.04		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	72	1.31		
		女	38	0.69		
	尖圭コンジローマ	男	53	0.96		
		女	23	0.42		
	淋菌感染症	男	91	1.65		
		女	20	0.36		
	膺トリコモナス症 *1	男				
		女	7	0.13		
梅毒様疾患	男	10	0.18			
	女	2	0.04			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	75	3.00	25	25
		女	55	2.20		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	30	1.20		
		女	14	0.56		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	2	0.08		
		女	1	0.04		
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症 *2	男				
		女				

2011/9/15

*1 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2011年8月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	4			3		1
20～24歳	16	2	5	14		2
25～29歳	25	7	8	21		
30～34歳	22	11	10	24		3
35～39歳	22	11	14	11		
40～44歳	17	10	5	6		2
45～49歳	10	13	6	7		
50～54歳	11	7	1	3		1
55～59歳	4	3	3	2		
60～64歳		2	1			1
65～69歳	1	3				
70歳～		3				
合計	132	72	53	91		10
先月数	124	89	46	86	2	7
増減数	8	-17	7	5	-2	3

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	10	2	2	3		
20～24歳	33	6	7	5	2	
25～29歳	34	11	7	3	2	
30～34歳	18	7	5	3		
35～39歳	5	3	2	5	1	
40～44歳	7	6		1	1	
45～49歳	4	2				
50～54歳	1					
55～59歳		1				
60～64歳						1
65～69歳					1	
70歳～						1
合計	112	38	23	20	7	2
先月数	98	41	20	19	10	
増減数	14	-3	3	1	-3	2

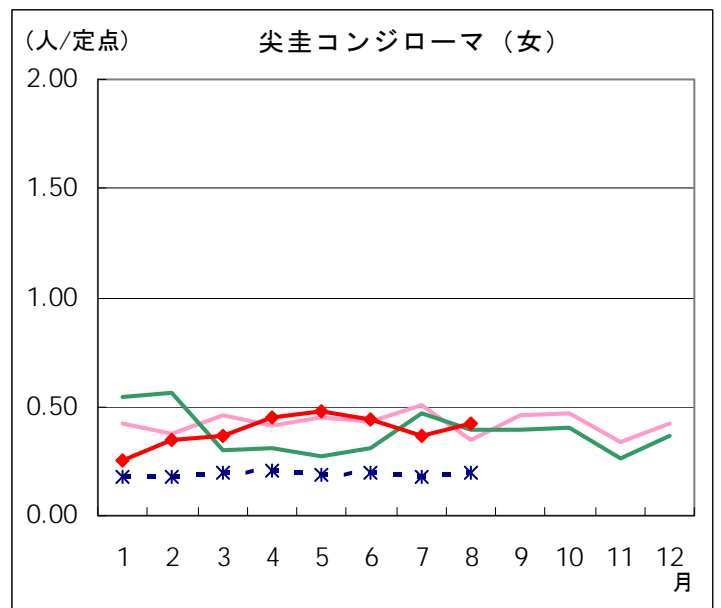
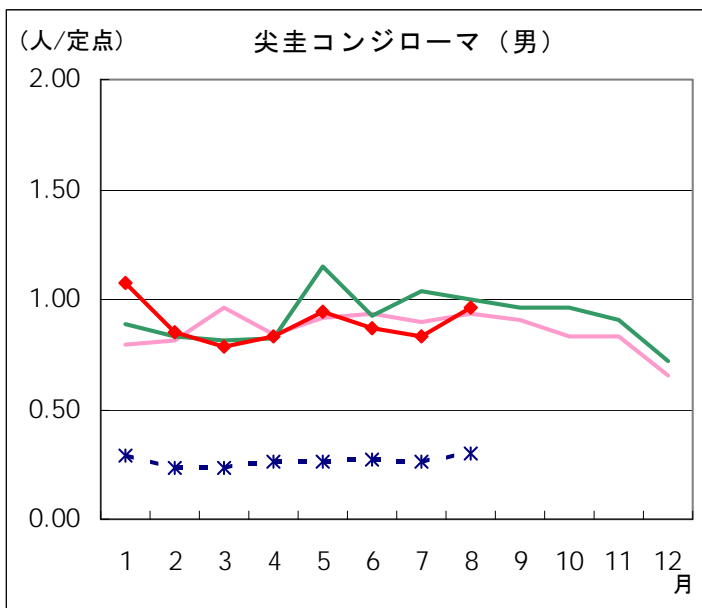
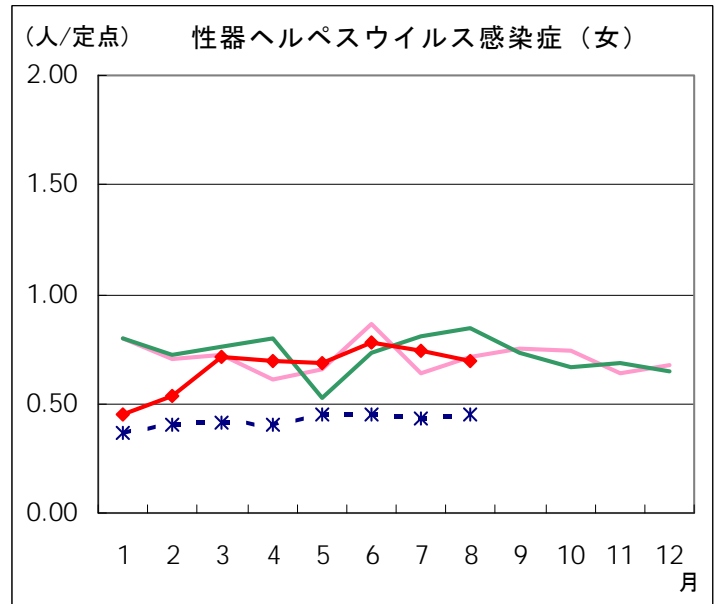
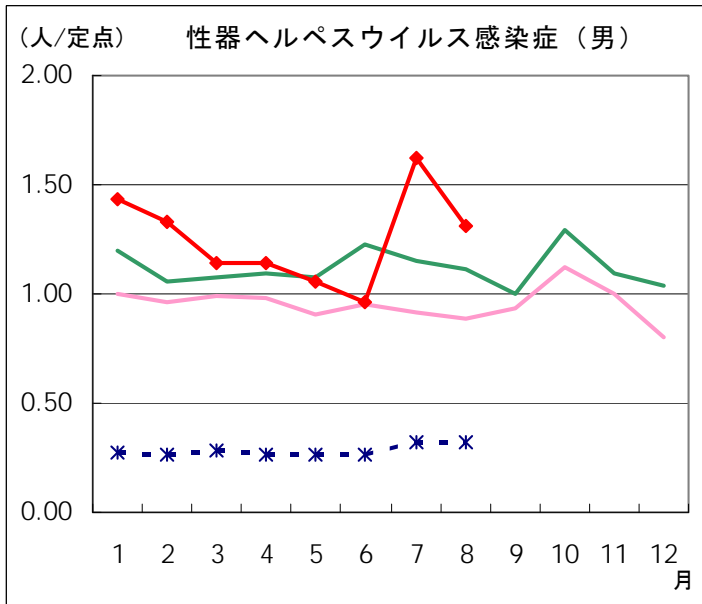
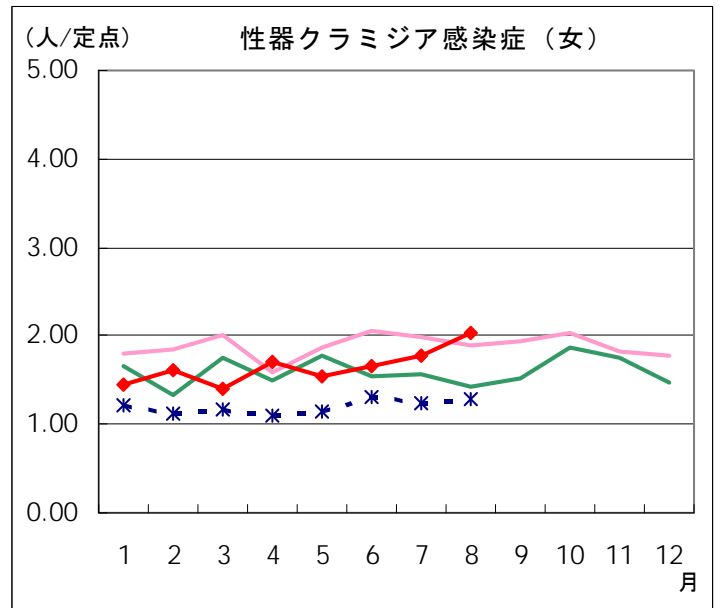
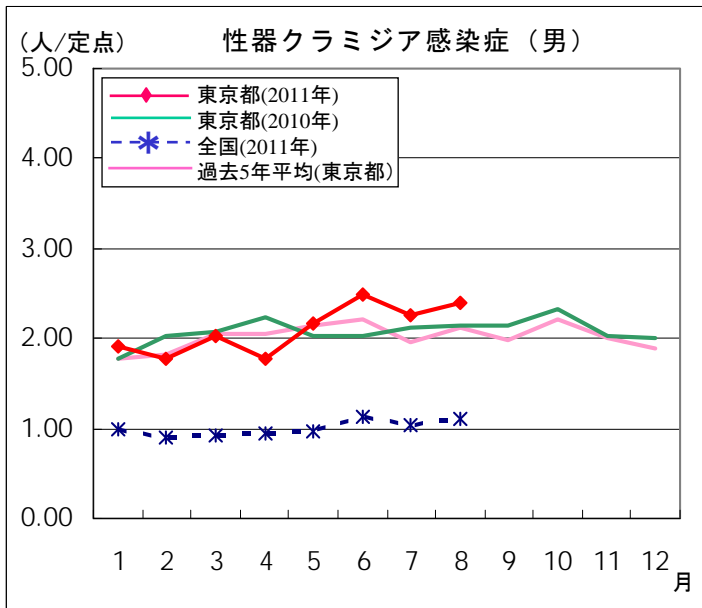
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2011年8月

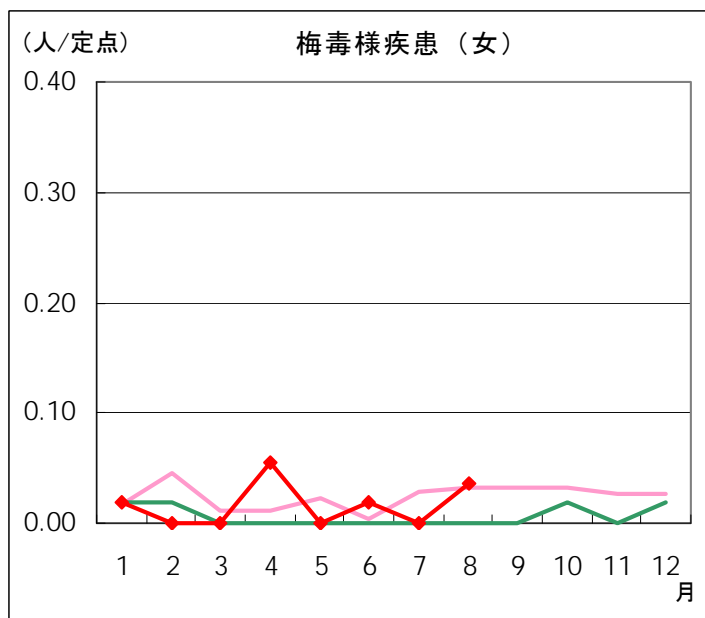
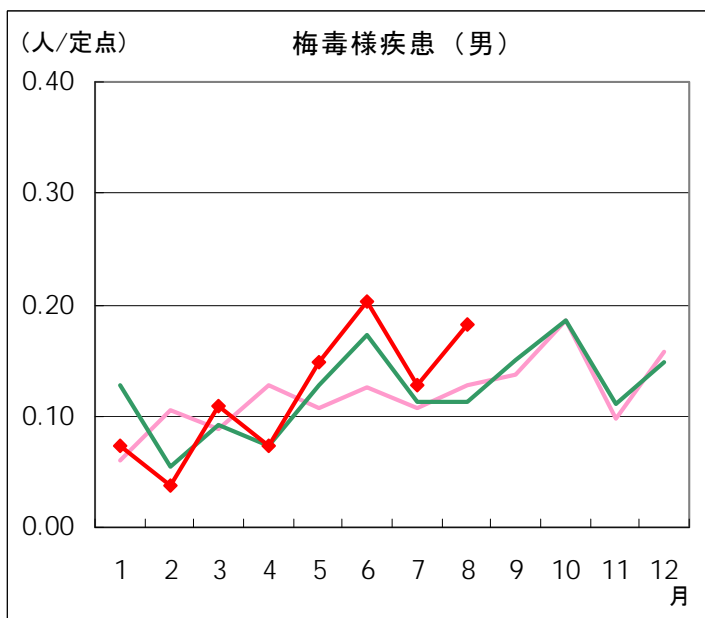
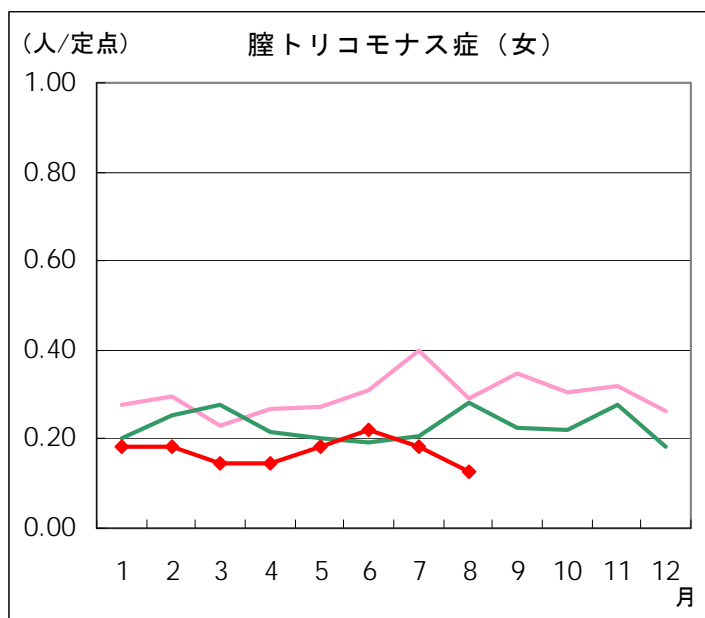
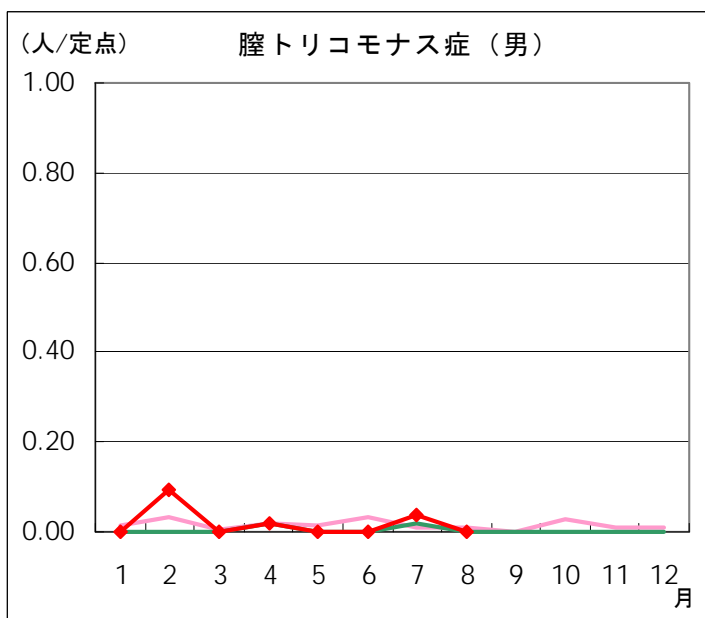
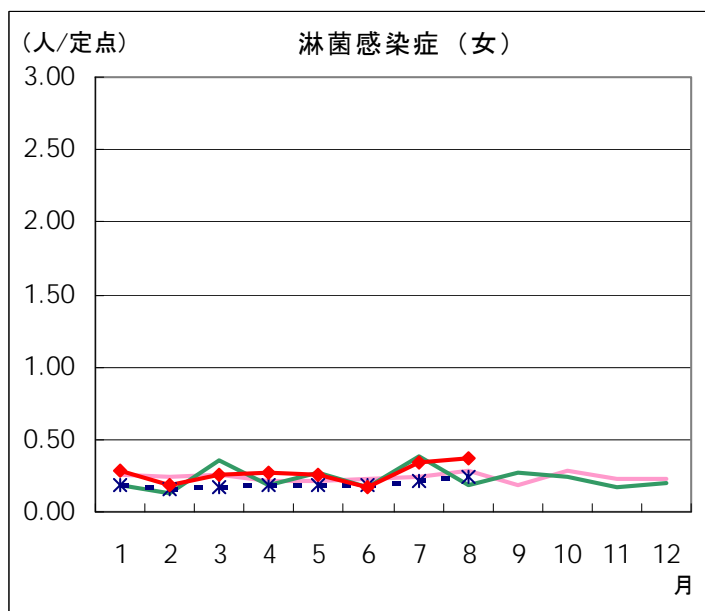
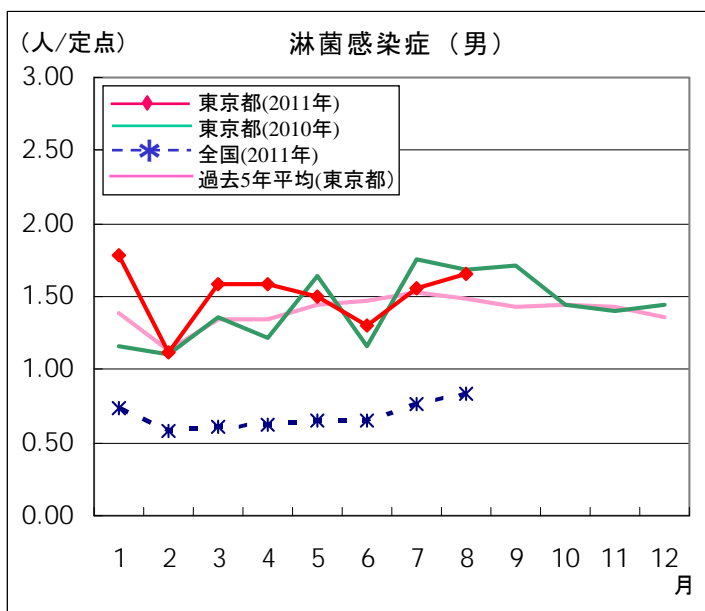
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	7		1	9		
中央区	3	8	5		2		
みなと	2	13	30	7	4		3
新宿区	7	30	12	24	35		5
文京	1	5	2	2	8		
台東	2						
墨田区	2	6	2	1	4		
江東区	2	11	6	4	12		
品川区	1	1			2		
大田区	2	2					
渋谷区	5	14	4	3	7		
中野区	2	6	1		1		1
杉並	2	4			1		
池袋	3	13	9	9	4		
北区	1	1		2			
荒川区	1						
板橋区	2	2					1
足立	2	3	1		2		
江戸川	2	5					
八王子市	1						
町田							
多摩立川	2	1					
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	132	72	53	91		10
定点当たり		2.40	1.31	0.96	1.65		0.18

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	2			1		
中央区	3	3					
みなと	2	11	4	1	1	2	
新宿区	7	9	10	7	8		
文京	1						
台東	2	4					
墨田区	2			2			2
江東区	2	1	1				
品川区	1						
大田区	2	4					
渋谷区	5	8	7	3	1		
中野区	2	2			1	1	
杉並	2	2			1		
池袋	3	9	6	1	2	2	
北区	1			1			
荒川区	1	3		3			
板橋区	2	8	2		1		
足立	2			1			
江戸川	2	4			1	1	
八王子市	1	10		2	1		
町田		5	1			1	
多摩立川	2	23	7	2	2		
多摩府中	3						
多摩小平	1	4					
合 計	55	112	38	23	20	7	2
定点当たり		2.04	0.69	0.42	0.36	0.13	0.04

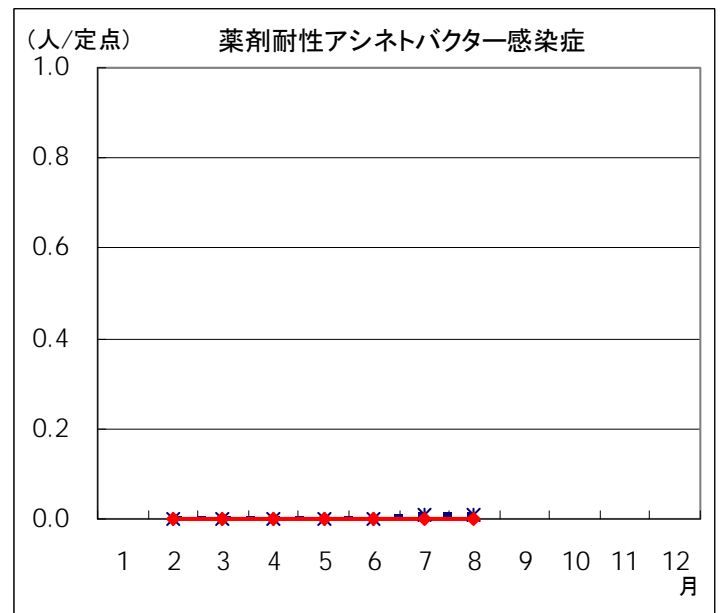
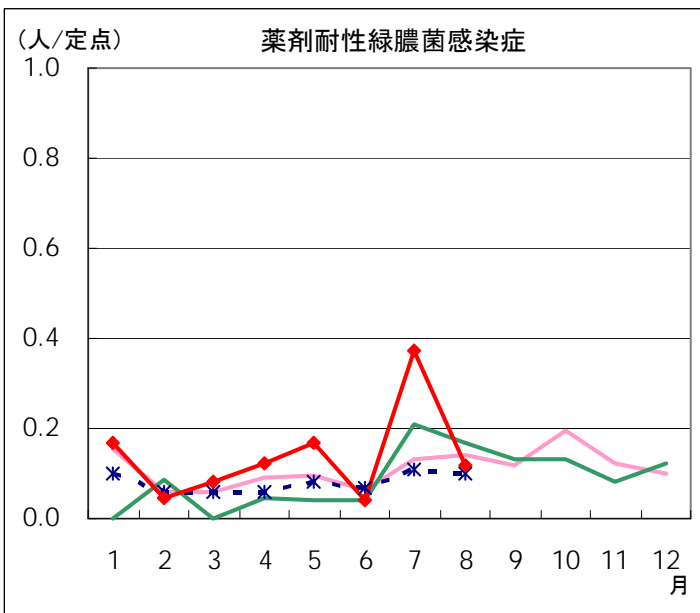
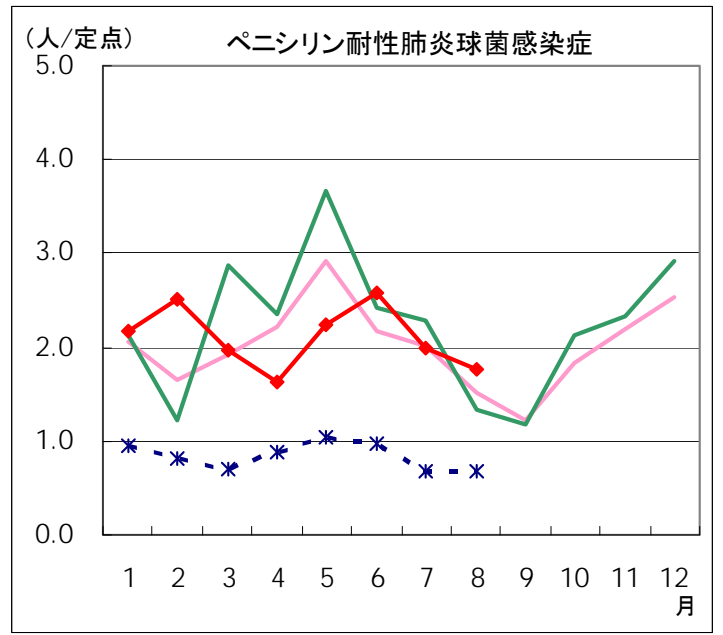
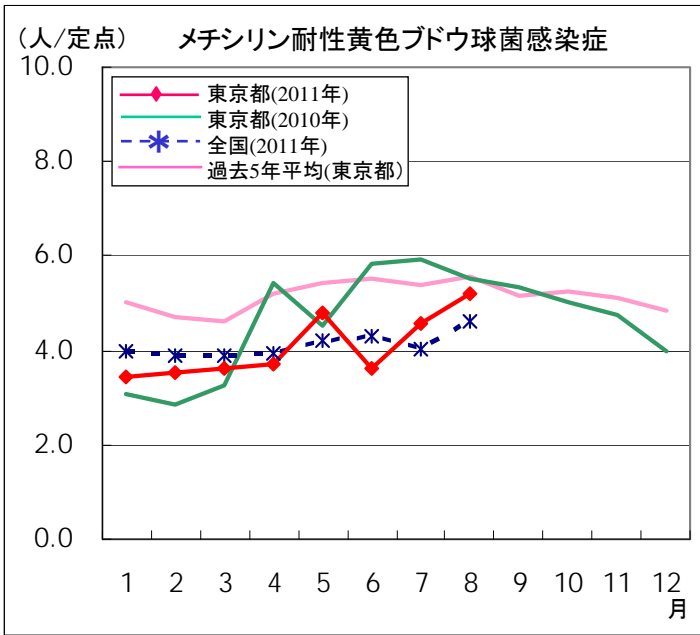
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2011年8月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
8/2	尖圭コンジローマ	60	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型	遺伝子
8/3	陰茎コンジローマ疑い	36	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 35型	
8/3	淋菌性尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
8/8	尿道炎	記載なし	男	尿	<i>Candida dubliniensis</i>	分離同定
8/9	淋菌性尿道炎	40	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
8/9	淋菌性尿道炎	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
8/11	淋菌性尿道炎	20	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
8/23	陰茎ヘルペス	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	遺伝子
8/23	尿道炎	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
8/23	尿道炎	39	男	尿	クラミジア	
8/24	尿道炎	33	男	尿	クラミジア、淋菌	
8/24	尿道炎	26	男	尿	クラミジア	
8/29	外陰ヘルペス疑い	58	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
8/30	陰茎ヘルペス	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
8/30	陰茎ヘルペス	23	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
8/30	尿道炎	33	男	尿	クラミジア	
8/31	性器ヘルペス	記載なし	男	皮膚病巣(水泡内容物)	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	

<感染症豆知識>

伝染性紅斑

伝染性紅斑は感染症法により五類定点把握疾患に定められ、都内 264 カ所の小児科定点医療機関から毎週報告されている。年により変動があるが、毎年、年始から夏にかけて症例数が増加し、9 月ごろ最も症例が少なくなる。年齢では、6 歳以下の小児が全体の約 7 割を占めている。

伝染性紅斑は、皮膚の発疹を主症状とするウイルス性の疾患で、一般的に「りんご病」と呼ばれている。ヒトパルボウイルス B19 を原因とし、典型的には約 10 日（4 日～15 日）の潜伏期間の後、両頬に境界がはっきりした発疹が見られ、続いて体や手足にも網目状の発疹が出現し、時にはかゆみを伴う。発疹は 7 日から 10 日で消失する。頬に発疹が出現する 7～10 日くらい前に、微熱や感冒様症状などの前駆症状が見られることが多い。成人が感染した場合、発疹に加えて、1～2 週間続く手首・ひざの痛みや腫れが見られることがある。成人では発症しても典型的な発疹を伴う頻度が低く、不顕性感染（感染後も未発症）も多い。妊娠中にパルボウイルスに感染した場合、母体や胎児に影響が出ることはまれと考えられているが、感染した妊婦（主に妊娠前期）での胎児水腫（胎児の循環障害等）や流産の報告がある。

伝染性紅斑にかかった人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染（飛まつ感染）するほか、水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手などを介し、口や眼などの粘膜に入って感染（経口・接触感染）する。伝染性紅斑は他の発疹を伴う疾患と異なり、熱などの前駆症状のとき最も感染力が強く、発疹が現れた時には人への感染の可能性はなくなる。特別な治療法はなく、必要に応じて対症療法を行う。また、予防接種もない。ヒトパルボウイルス B19 はヒトにのみ感染するウイルスであり、動物から感染することはない。

（文責 東京都健康安全研究センター 杉下由行）